

日本二十六聖人乗船の地

豊臣秀吉の命で捕らえられた26聖人は京都から刑地である長崎まで約900キロの道を歩いて移動しました。殉教の日となる1597年2月4日の午後、佐賀の嬉野を経由して彼杵に着いた一行は、厳寒の大村湾を舟で時津へ渡ったとされ、乗船した海岸の近くには記念碑が建てられています。



八坂神社

彼杵港に隣接し、創建は江戸時代初めとされる歴史ある神社。江戸時代末期、長崎にいたシーボルトが彼杵宿に宿泊した際、絵師に描かせた彼杵港の絵の中に、この神社も描かれています。



ひさご塚古墳

県内最大級の前方後円墳。「ひさご」とは「ひょうたん」の意味で、形がひょうたんに似ているためその名前が付けられました。全長は58.8m、5世紀前半の築造で、彼杵地方に君臨した権力者の墓とされています。



道の駅・彼杵の荘

東そのぎICの近くにあり、特産のそのぎ茶をはじめ、新鮮な野菜や果物、クジラ肉などを販売しています。隣接する食事処では、クジラ肉が入ったご汁定食など郷土色豊かな食事が楽しめます。



東彼杵町 歴史民俗資料館

旧石器時代から江戸時代までの歴史と暮らしを展示しているほか、そのぎ茶の歩みも紹介。長崎街道を中心に、宿場に生まれた郷土芸能や祭りの道具類なども展示しています。

つたえるけん
東彼杵町

海が見えるゲストハウスには、さまざまな人たちの「ただいま」の音が響いています



今月のつたえるひと **齊藤 仁** さん

大阪府出身。2016年に妻の晶子さんと一緒に東京から東彼杵町に移住。3年間、東彼杵町地域おこし協力隊として活動後、元旅館を改修して東彼杵町初のゲストハウス「さいとう宿場」をオープン。



千綿駅

木造のレトロな駅舎は、昭和3年に創設された駅舎の面影をそのままに平成5年に改築されたものです。ホームは大村湾の海岸線に沿って設置され、なだらかにカーブしています。列車が海側に少し傾いた状態で停車するのは日本で千綿駅だけだと言われています。



かぶらけ 蕪池

千綿高原周辺には、江戸時代に捕鯨で財を成した深沢義太夫が農業用の水を貯水するために造った人工池(ため池)が4つあり、蕪池もその一つ。標高350mの蕪郷にあり、春は桜、秋は紅葉などが楽しめます。

旅人と地元の人、移住者が交流し、新しい何かが生まれる場所へ

東京でインテリア関係の会社に25年間勤務していましたが、海の見える田舎に住みたいという夢があり、50歳で退職して移住先を探しはじめました。南九州や四国などを巡る中で、たまたま雑誌で千綿駅の写真を見つけ、この景色を一目見たいと訪れたのが東彼杵町に移住したきっかけです。

東彼杵町の魅力は、海が見えるロケーションはもちろん、自然がきれいで、食材も豊富など。お茶もおいしくて驚きました。また、東彼杵町自体は静かな田舎そのものですが、空港や周辺の観光地まで短時間で往ける「便利な田舎」です。それに加え、移住の決め手となったのは、空き家として紹介された大村湾沿いに建つ築80年以上の元旅館でした。移住後は、海の見える場所ですぐに飲食に関わる仕事をしたいと思っていたので、その建物に出会った瞬間、一気に夢が広がりました。

まずは、東彼杵町地域おこし協力隊員として赴任し、東京での仕事の経験を生かして空き家の改修や空き家バンクの推進、移住希望者が最大30日間滞在できる「お試し住宅」の整備などに取り組みました。それらの活動の傍ら、元旅館の改修を

少しずつ進めながら、「さいとう酒場」と称して地元の人や移住者を家に招き、手料理とお酒で交流を深めていきました。そして、2019年8月に念願のゲストハウスをオープン。「さいとう宿場」と名付けました。海と鉄道、そして夕日を堪能できる宿として利用できるほか、1階の飲食スペースは、旅人や地元の人々が「ただいま」と気軽に立ち寄り、地元のお米や旬の野菜を使った料理とお酒を楽しめる、新しいカタチの地域の食卓づくりを目指しています。東彼杵町は、かつて長崎街道の宿場町としてさまざまな人や文化が行き交った場所です。私たちも、この町の良いところをたくさん伝え、人と人の交流を通して新しい何かが生まれる場所を目指して頑張ります。

東彼杵町のお土産

そのぎ茶を使った 茶ちや焼

これまで100万個以上も売れているという「道の駅・彼杵の荘」の名物。お茶の葉の形をした回転焼きの中に、そのぎ茶の香りがする粒あんがぎゅっり入っています。



問合せ/道の駅・彼杵の荘
☎0957-49-3311

表紙のはなし『彼杵港・元禄船着場跡』

元禄時代に造られた小さな港。江戸時代初期から明治にかけて各地で捕獲されたクジラが彼杵港に運ばれ九州各地に送られていたので、港周辺は大いに栄えていました。石垣で築かれた波止場などはほぼ当時のまま残っています。

3月後半は桜が見頃 河川公園 やすらぎの里

花菖蒲や水仙などの可憐な花々が季節ごとの艶やかさで彩る水生植物園をはじめ、桜広場、梅園などのほか、多目的グラウンドが整備されています。毎年3月後半には桜が見頃となります。また、上流には大樽、小樽の2つの滝があり、夏には美しい景観の中で水遊びが楽しめます。



場 所/東彼杵町里郷
問合せ/☎0957-46-1111(東彼杵町役場)

新茶の香りたどよう伝統の そのぎ茶市

江戸時代から伝わる伝統の茶市。全国茶品評会などで日本一に輝いた特産品の「そのぎ茶」の即売のほか、鯨肉、農水産加工物を扱った多くの露店が並びます。



期 間:5月21日(金)~23日(日)
10時~19時(最終日は18時まで)
場 所:彼杵宿通り(東彼杵町役場横)
問合せ:東彼杵町東彼杵支所
☎0957-46-1700
※イベントは中止、または「Webそのぎ茶市」に変更となる場合があります